

「長尾けやきの里」職員の新型コロナウイルス陽性確認について（報告）

令和3年5月10日（月）に「長尾けやきの里」職員1名の新型コロナウイルス陽性が判明しましたのでご報告いたします。尚、長尾けやきの里の利用者・職員の健康状態に異常がないことを確認し、宮前区衛生課の指導の下、通常営業をしております。

○ 感染の経過及び、施設の状況

1) 当該職員の経過

5月7日（金）まで勤務。8日（土）に濃厚接触者に認定され、9日（日）に発熱等により医療機関を受診。10日（月）に陽性と確認。

2) 施設の対応

5月9日（日）：感染の可能性が極めて高いことから、当日中に全利用者及び職員に電話にて報告をし、健康状態の確認をした。利用者については出来る限り自宅で過ごしていただくことを勧め、職員の半数を自宅待機と指示した。

5月10日（月）：当該職員の陽性を確認。その前後に川崎市障害計画課及び宮前区衛生課へ報告をし、その指導の下、消毒作業や他職員・利用者を対象とした濃厚接触者の確認及び健康観察等を実施。

5月11日（火）：宮前区衛生課による指導の下、規模を縮小した営業を行いながら、他職員・利用者を対象とした濃厚接触者の調査を行う。同時に自宅で過ごしている利用者も含めた健康確認等を行った結果、発熱・体調不良者もなく、濃厚接触者と認められるものがないと宮前区衛生課の判断を受け、5月12日（水）より通常営業を行うことになる。

利用者及びご家族の皆様、関係者の皆様、地域の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけしてしまい、誠に申し訳ございません。

感染拡大を防止すべく、また一日も早い収束に向け、職員一同全力で取り組んでまいりますので、ご理解ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人長尾福祉会
理事長 荒川佳紀